

スクリブル

スクリブルとは、「なぐり描き」という意味です。マーカーや、色鉛筆等、どんな物でもできますが、0歳児クラスでは握りやすく、力を込めやすいクレヨンを使ってスクリブルをしていきました。初めの頃はクレヨンを握る事に精一杯で、画用紙に線や点、色を付ける事も難しい様子でした。そんな子供たちの1年間のスクリブルの様子をお知らせします。

初めてのクレヨンに「なにこれ?」と言っているかのような表情で、クレヨンを握って感触を確かめたり、口に入れようとしたりする姿が見られました。保育士がクレヨンを使って画用紙に描いて見せると、真似てクレヨンを握り手を動かしますが、握ったまま力を込めて手を動かすのは難しく、中々色が出ませんでした。まだまだクレヨンで描く事よりもクレヨンが何かを触りながらじっくり研究する事に興味があるようで、何度もクレヨンを握ったり、色のついた所を手でなでたりしていました。

クレヨンと画用紙を用意すると嬉しそうに席に着き、自分で好きな色を選んでいました。クレヨンを持つ手にもしっかり力が入り、縦や横に腕を動かし、力強い線が描けるようになりました。又、以前はあまり腕を伸ばさずことなく画用紙の下側にばかり描いていましたが、腕を大きく動かし画用紙いっぱいに描いたり、塗りつぶすように濃く線を描いたりする姿が見られるようになりました。横に腕を動かすことが多かったのですが、縦にも腕を動かして描く姿も見られました。



始めはいつものように机に画用紙を用意して、クレヨンを自分で選んでスクリブルを行いました。画用紙いっぱいに腕を動かし、そのうち画用紙をはみ出し机にまで伸び伸び描く姿が見られたので、広々と目一杯描けるような大きな模造紙を用意しました。すると、模造紙の近くに集まって来て興味津々な表情を見せてくれました。保育士が、「ここにも描いていいよ」と知らせると早速クレヨンを持って大きな模造紙にスクリブルを始めました。模造紙の上に寝転んだり、座ったりしながら楽しそうにぐるぐる、ギザギザ、ぬりぬり等大きく腕を動かしていました。真っ白な模造紙があっという間にカラフルになりました。

以前クレヨンを使った事を覚えていたようで、自分からクレヨンを握っていました。トントントンと画用紙を叩くように手を上下させ点を描きました。保育士が線を描いて見せると、クレヨンを握った手を左右に手を動かし線を描こうとする姿も見られましたよ。けれども、握ったまま力を込めて手を動かす事はまだ難しく、点の延長のような短い線を描いていました。

